

令和7年度 第1回 追分小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年4月24日（木） 13時30分から14時50分まで
- 2 開催場所 浜松市立追分小学校 会議室
- 3 出席委員 小山 正博、松本 依子、内山 丈夫、村上 美代子、今泉 るり子、
野田 昌宏、齋藤 泰司、青嶋 祐介
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 澤田 直子（校長）、大渡 和正（教頭・CS担当）、池野 紀子（教務主任）
山田 公子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 山田 公子

9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、松本委員から小山委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選出された小山委員から、松本委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、小山会長より松本副会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）追分小学校運営基本方針について
- （2）追分小学校いじめ防止基本方針について
- （3）夢育やらまいか事業に対する意見書について
- （4）学校運営協議会の自己評価項目の確認

12 会議記録

司会の大渡教頭から、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）追分小学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があった。今年度から始まった第4次浜松市教育総合計画を受けて作成されたグランドデザインの詳細についてである。追分小学校の目指す学校像『楽しい学校 追分小 ～ウェルビーイングの向上～』のための具体的な活動の方向が示された。学校教育目標である「やさしさ かしこさ たくましさ」を基軸に、お互いを認め合い、自分らしさを発揮し、生き生きした人生を享受する子供たちが集う場所であることを目標とする。

- ① やさしさ 思いやりにあふれ、相手の気持ちを考えて行動する子供に育てたい。
- ② かしこさ 意欲をもって学び、友達と共に磨き合う→学校という集団で学ぶよさを味わ

ってほしい。

- ③ たくましさ 目標に向かって、粘り強く挑戦し続ける→苦手なこと、心配なことでもまずはやってみようという気持ちで目標に向かって努力する気持ちを育てたい。

主体性の醸成・振り返り活動の充実・目標に向けての挑戦という多方面からアプローチし、自己肯定感を高め、一人一人のウェルビーイングの向上に取り組む。「自分たちの学校は自分たちで作る」という気持ちで活動し、協同して取り組み、成し遂げ、子供たちの「楽しい」が集まって「楽しい学校」への実現へとつながる。4つの力（かかわる力・見つめる力・のりこえる力・夢に向かう力）をキャリア教育の核として子供たちに意識させ、教育活動の中で思いを結びつけていく。さらに、授業の中での振り返りの充実に取り組む。楽しい中でもしまりがある空気、安心できる場所であること、好奇心をくすぐられるような学びとの出会いも大切にしていきたい。

また、教職員は子供を支え、導き、伸ばすために共に動き、子供たちの自分らしさをしっかりと受け止めることが目指す教職員像である。同時に、教職員自身が健康且つ笑顔で過ごすことが重要であり、そのためにワークバランスを整えていく。

地域との連携も重要である。たくさんの人々と関わり、助言をいただくことで教育活動はより充実していく。学校だけでなく、地域と共に追分の子供たちを育てていくためにも、地域の方々の支援の力が不可欠である。

説明を受け、委員からは以下の発言があった。

- ・笑顔で過ごし、友達がいるということが「楽しい学校」につながると考える。関わる力が大切であり、それにより希望がわき、何か行動しようという意欲になる。（小山会長）
- ・「楽しい学校」は子供たちそれぞれにたくさんの要素がある。明日も行きたい、みんなと過ごしたい、このように考えることは「楽しい学校」の一つの姿である。また、学習の振り返りはとても重要であり、重ねていくことで主体的に伸びていく。授業の中でその仕掛けをしていくことは有用だ。（野田委員）
- ・個々の個性を認め合い、全体で交流できており、周囲への声のかけ方も指導せずとも自然に身についている。垣根を作らないところが追分小のよさだ。（村上委員）
- ・同級生はもちろん、他学年からも認められ、褒められることは励みになる。いいところを見つけ合う教育に取り組む、身につけていってほしい。（内山委員）
- ・大変なこと、苦しいことでも乗り越えていく仲間がいること、そして仲間が周りにいることを子供たちが自覚することが「楽しい学校」につながる。追分小は単級で、新しいつながりという面では弱い分、地域など多くの方々と交流をしていくことで、関わることの大切さ、楽しさを感じてほしい。（今泉委員）
- ・小山委員と同感である。友達がいること、そして関わる力は大切である。緊張していても、友達の声掛けで安心し、学校で楽しく過ごせる。また、一人ではできなくても、仲間と一緒にならできることもある。人数が少ないからこそ仲良くなれるという利点もある。地域と交流するさまざまなシチュエーションを、先生方が作ってくださっていることがありがたい。（松本議長）
- ・居場所には2つの観点があると思う。学校においては、認められる、活躍できる、そして自分はここに必要であると思えることだ。家庭においては、ほっとできる居場所があること、それが精神的な安心につながる。（齋藤委員）

・「楽しい学校」と捉えるには、学校が行かなければならない場所から自発的に行く楽しい場所へと位置づけされることが理想ではないか。子供にとって目的は多様で、学習以外でも、学校生活が充実する場面があることは大切である。（青嶋委員）
協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（２）追分小学校いじめ防止基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき追分小学校いじめ防止基本方針について説明があった。いじめは絶対に許さないという方針や、未然防止、早期発見についての説明があった。見逃しゼロを目指し、児童の様子を注視していく。子供たちが勇気をもって相談し、打ち明けてくれることが対応への素地になると信じている。教員はまっすぐ受け止め、寄り添っていく。キャリア教育に絡め、年間計画を立てている。→ホームページに詳細記載あり。

（３）夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき学校に必要な支援について説明があった。

（４）学校運営協議会の自己評価項目の確認

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき自己評価項目について確認があった。

＜その他報告事項等＞

学校支援コーディネーターの今泉委員より、本年度の活動予定が報告された。昨年の活動を中心に、新たな活動も模索していく。

司会から、次回会議は、２０２５年６月１６日（月）午後１時１５分から追分小学校会議室で開催する旨の報告があった。